

エコアクション21

# 環境経営レポート

(2023年度)

2023年7月～2024年6月

発行日 2024年9月30日

次回発行予定日 2025年9月30日頃

株式会社 高知電気

〒780-0818 高知県高知市宝永町3番20号

# 目 次

---

1. 組織の概要
2. 対象範囲(認証・登録範囲)
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営計画書
7. 環境経営目標とその実績
8. 環境経営計画の取組結果の評価、及び次年度の取組内容
9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
10. ボランティア活動の実施報告
11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

# 1. 組織の概要

- ◆ 事業所名 株式会社 高知電気
- ◆ 代表者氏名 代表取締役 廣光 宏昭
- ◆ 住所 〒780-0818 高知県高知市宝永町3番20号
- ◆ 環境管理責任者 廣光 久子
- ◆ 担当者連絡先 TEL 088-883-5995 FAX 088-883-5107
- ◆ 事業内容 電気設備工事業、通信設備工事業、太陽光発電設備工事業  
建設業許可：電気工事業（高知県知事(特一3)第266号)  
許可年月日：令和4年3月10日
- ◆ 事業の規模 設立年月日：昭和31年11月1日  
資本金：2000万円

活動規模	単位	2023年
売上高	万円	25,033
従業員	人	11
床面積	m <sup>2</sup>	137.88

## 2. 対象範囲(認証・登録範囲)

- ◆ 対象範囲(認証・登録範囲) 株式会社 高知電気 本社
- ◆ レポートの対象期間 2023年7月～2024年6月
- ◆ 環境経営レポートの発行日 2024年9月30日
- ◆ 作成責任者 環境管理責任者 廣光 久子

# 3. 環境経営方針

## 基本理念

電気設備工事・通信設備工事の事業を通じて地域社会へ貢献すると共に、地域の環境に配慮した活動を行い、社員1人ひとりが高い意識を持ち、積極的に地球環境の保全に取り組んでまいります。

## 基本方針

私たちは以下の方針に基づき、地球環境の保全に取り組めます。

1. 事業活動が環境に与える影響を常に認識し、次の項目を重点課題として取り組めます。
  - ・ 電気、紙等資源の使用量削減による省資源活動の推進
  - ・ ガソリンの使用量削減による省エネルギー活動の推進
  - ・ 廃棄物の削減及びリサイクル活動の推進
  - ・ 環境に配慮した事務用品等グリーン購入の推進
2. 環境クリーン作戦等地域の環境保全活動に積極的に参画し、地域社会に貢献します。
3. 環境マネジメントシステムを構築し、継続的に改善し、環境汚染の予防に努めます。
4. 環境関連の法令、条例等を遵守します。
5. 環境方針に沿った環境目的・目標を設定し、必要に応じて見直します。

この環境経営方針を、全従業員へ周知するとともに、社外に開示します。

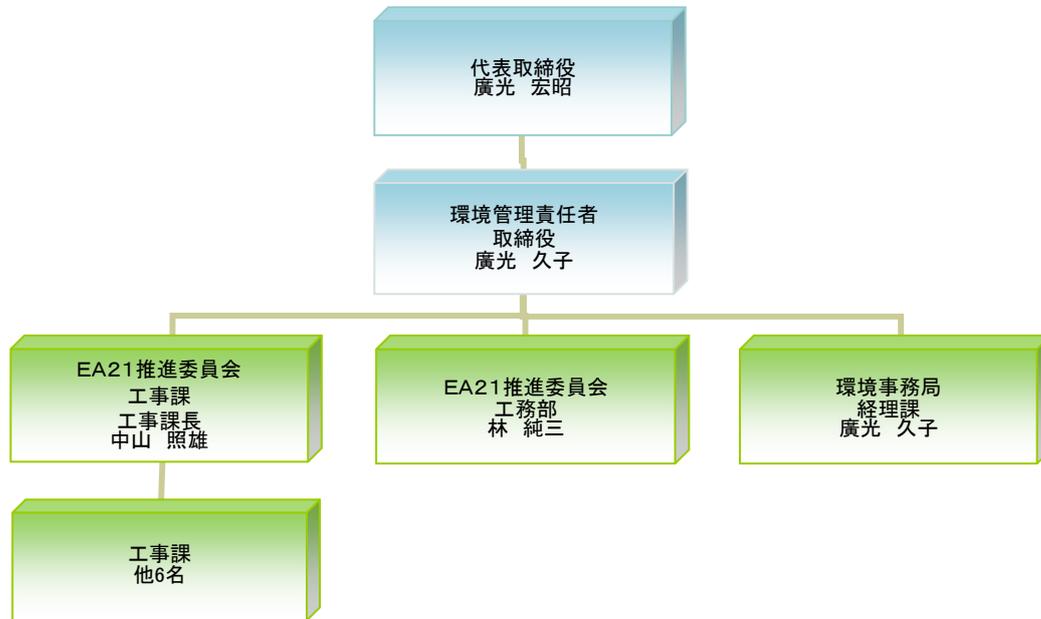
制定日 平成23年6月23日

改訂日 令和 元年7月 1日

株式会社 高知電気

代表取締役 廣光 宏昭

# 4. 環境管理組織体制



役割・責任・権限	
代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境経営計画の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

# 5. 環境経営目標

## (1) 中・長期環境経営目標(2023年度目標)

☆過去5年間の実績平均を基準値として、3年間に各項目を3%削減することを目標とする。

項目	単位	基準値 (2018年～ 2022年の平均 値)	目標 2023年度		目標 2024年度		目標 2025年度		
				基準年比		基準年比		基準年比	
燃料使用量の削減	L	9,667.43	9,570.76	(-1.00%)	9,474.08	(-2.00%)	9,377.41	(-3.00%)	
	Kg-CO2	22,525.70	22,300.44	(-1.00%)	22,075.19	(-2.00%)	21,849.93	(-3.00%)	
電力使用量の削減	kWh	12,385	12,260.75	(-1.00%)	12,136.91	(-2.00%)	12,013.06	(-3.00%)	
	Kg-CO2	6,588.60	6,522.71	(-1.00%)	6,456.83	(-2.00%)	6,390.94	(-3.00%)	
ガス使用量の削減	kg	212.41	210.29	(-1.00%)	208.16	(-2.00%)	206.04	(-3.00%)	
	Kg-CO2	637.22	630.85	(-1.00%)	624.48	(-2.00%)	618.10	(-3.00%)	
総CO2排出量の削減	Kg-CO2	29,751.52	29,454.00	(-1.00%)	29,156.49	(-2.00%)	28,858.97	(-3.00%)	
水使用量の削減	m3	305.00	301.95	(-1.00%)	298.90	(-2.00%)	295.85	(-3.00%)	
太陽光発電施工	%	64.00	64.64	(+1.00%)	65.28	(+2.00%)	65.92	(+3.00%)	
グリーン製品購入割合	%	100.00	100.00		100.00		100.00		
一般廃棄物	可燃ごみの削減	kg	74.94	74.19	(-1.00%)	73.44	(-2.00%)	72.69	(-3.00%)
	コピー用紙の排出量	kg	132.87	131.54	(-1.00%)	130.21	(-2.00%)	128.88	(-3.00%)
産業廃棄物排出量削減	kg	8,232	8,149.68	(-1.00%)	8,067.36	(-2.00%)	7,985.04	(-3.00%)	
産業廃棄物排出量削減 (原単位)	kg/百万円	31.41	31.10	(-1.00%)	30.78	(-2.00%)	30.47	(-3.00%)	

※電力のCO2発生量については、四国電力のCO2排出係数(2021年度実績)0.532Kg-CO2/kWhを使用した。

※グリーン購入品目については、グリーン対象商品30品目の購入割合を算出する。

※産業廃棄物の原単位は、売り上げ単位を百万円として算出。

※太陽光発電施工については、全体の住宅施工件数から割合を算出している。

**※2023年度は上記目標に取り組みます。**

## 6. 環境経営計画書(2023年度)

		具体的取組内容	責任者
二酸化炭素排出量を削減	ガソリン使用量を削減	①エコドライブ・アイドリングストップを心がける。	林
		②タイヤの空気圧を確認する。	
		③タクシーの利用は最小限にする。	
	電力使用量を削減	①OA機器を省エネモードにする	井上
		②OA機器不用時はスイッチオフ	
		③昼休み、不用時の消灯	
④エアコンの温度管理冷房28℃			
⑤エアコンフィルター清掃			
⑥お湯の使用は必要最小限にする。			
ガス使用量を削減	①ストーブは昼休みは消す	井上	
水使用量を削減	①水の流し放しはしない。	井上	
	②洗剤は適量で使用し、洗い水の使用を最小限にする。		
紙使用量を削減	①コピー用紙の裏紙利用	井上	
	②縮小コピーを利用		
	③FAX機器の電子化により、ペーパーレス化を推進する。		
太陽光発電施工の増加	①太陽光発電施工工事を積極的に受注する。	林	
グリーン購入高を増加	①グリーン購入法適合商品リスト作成をもとに購入	井上	
物産を業削廃減棄	金属くず・廃プラ・紙くず排出量を削減	①ゴミの分別廃棄を徹底し、リサイクルラインを確立する。	林
労働災害の防止	①月1回の安全衛生協議会への出席。	林	
	②整理整頓を心がける		
資格試験への取組	①資格試験の申し込み	井上	
地域の環境活動	①地域のボランティア活動の参加	井上	

## 6. 環境経営計画書(2024年度)

		具体的取組内容	責任者
二酸化炭素排出量を削減	ガソリン使用量を削減	①エコドライブ・アイドリングストップを心がける。	林
		②タイヤの空気圧を確認する。	
		③タクシーの利用は最小限にする。	
	電力使用量を削減	①OA機器を省エネモードにする	井上
		②OA機器不用時はスイッチオフ	
		③昼休み、不用時の消灯	
		④エアコンの温度管理冷房28℃	
		⑤エアコンフィルター清掃	
		⑥お湯の使用は必要最小限にする。	
ガス使用量を削減	①ストーブは昼休みは消す	井上	
水使用量を削減	①水の流し放しはしない。	井上	
	②洗剤は適量で使用し、洗い水の使用を最小限にする。		
紙使用量を削減	①コピー用紙の裏紙利用	井上	
	②縮小コピーを利用		
	③FAX機器の電子化により、ペーパーレス化を推進する。		
太陽光発電施工の増加	①太陽光発電施工工事を積極的に受注する。	林	
グリーン購入高を増加	①グリーン購入法適合商品リスト作成をもとに購入	井上	
物産を業削廃減棄	金属くず・廃プラ・紙くず排出量を削減	①ゴミの分別廃棄を徹底し、リサイクルラインを確立する。	林
労働災害の防止	①月1回の安全衛生協議会への出席。	林	
	②整理整頓を心がける		
資格試験への取組	①資格試験の申し込み	井上	
地域の環境活動	①地域のボランティア活動の参加	井上	

## 7. 環境経営目標とその実績

項目	単位	基準値 (2018年～ 2022年の平均 値)	目標 2023年度		実績 2023度		
				基準年比		判定	
燃料使用量の削減	L	9,667.43	9,570.76	(-3.00%)	7,678.10	○	
	Kg-CO2	22,525.70	22,300.44	(-3.00%)	17,879.18	○	
電力使用量の削減	kWh	12,385	12,260.75	(-3.00%)	10,283	○	
	Kg-CO2	6,588.60	6,522.71	(-3.00%)	5,470.57	○	
ガス使用量の削減	kg	212.41	210.29	(-3.00%)	191.07	○	
	Kg-CO2	637.22	630.85	(-3.00%)	573.21	○	
総CO2排出量の削減	Kg-CO2	29,751.52	29,454.00	(-3.00%)	23,922.96	○	
水使用量の削減	m3	305.00	301.95	(-3.00%)	324.00	×	
太陽光発電施工	%	64.00	64.64	(+3.00%)	80.00	○	
グリーン製品購入割合	%	100.00	100.00		100.00	○	
一般廃棄物	可燃ごみの削減	kg	74.94	74.19	(-3.00%)	82.55	×
	コピー用紙の排出量	kg	132.87	131.54	(-3.00%)	36.70	○
産業廃棄物排出量削減	kg	8,232	8,149.68	(-3.00%)	24,119.00	×	
産業廃棄物排出量削減 (原単位)	kg/百万	31.41	31.10	(-3.00%)	96.47	×	

※電力のCO2発生量については、四国電力のCO2排出係数(2021年度実績)0.532Kg-CO2/kWhを使用した。

※グリーン購入品目については、グリーン対象商品30品目の購入割合を算出する。

※産業廃棄物の原単位は、売り上げ単位を百万円として算出。

※太陽光発電施工については、全体の住宅施工件数から割合を算出している。

### (環境目標とその実績に対するコメント)

燃料費は遠距離の現場が少なくなった事、また乗り合わせで現場へ行くことも多かった事、従業員が少なくなった事から使用量が少なくなった。

電気使用量は2階の従業員が現場事務所へ行く事が多くなった為、使用量が少なくなった。

ガスは1月の気温が前年度と比べ暖かった為、使用量が少なくなった。

水、可燃ごみは、従業員が一時的に増えたりした為使用量が多くなったと考えられる。

コピー用紙の排出量は、現場事務所で作業する事があったので少なくなった。

産業廃棄物排出量は学校や福祉センター・集会所等、大口の照明取替工事があった為多くなった。

## 8. 環境経営計画の取組結果の評価、及び次年度の取組内容

年度目標		目標設定手段	責任者	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	評価
二酸化炭素排出量を削減	ガソリン使用量を削減	①エコドライブ・アイドリングストップを心がける。	林	○	○	○	○	○
		②タイヤの空気圧を確認する。						
		③タクシーの利用は最小限にする。						
	電力使用量を削減	①OA機器を省エネモードにする	井上	○	○	○	○	○
		②OA機器不用時はスイッチオフ						
		③昼休み、不用時の消灯						
		④エアコンの温度管理冷房28℃						
		⑤エアコンフィルター清掃						
		⑥お湯の使用は必要最小限にする。						
	ガス使用量を削減	①ストーブは昼休みは消す	井上	○	△	△	○	△
水使用量を削減	①水の流し放しはしない。	井上	○	○	○	○	○	
	②洗剤は適量で使用し洗い水の使用を最小限にする。							
紙使用量を削減	①コピー用紙の裏紙利用	井上	○	○	○	○	○	
	②縮小コピーを利用							
	③FAX機器の電子化によりペーパーレス化を推進する。							
太陽光発電施工の増加	①太陽光発電施工工事を積極的に受注する。	林	○	○	○	○	○	
グリーン購入高を増加	①グリーン購入法適合商品リスト作成をもとに購入	井上	○	○	○	○	○	
産業廃棄物	金属くず・廃プラ・紙くず排出量を削減	①ゴミの分別廃棄を徹底しリサイクルラインを確立する。	林	○	○	○	○	○
労働災害の防止	①月1回の安全衛生協議会への出席	林	○	○	○	○	○	
	②整理整頓を心がける。							
資格試験への取組	①資格試験の申し込み	井上	○	○	○	○	○	
地域の環境活動	①地域のボランティア活動の参加	井上	○	○	○	○	○	

○=実施 △=一部出来なかった ×=出来なかった

項目	取組結果の評価	次年度の取組
CO2排出量の削減	ガソリン使用量の取組は行われている。 電力使用量も極力削減するよう取り組んでいる。 ガスの使用量も削減するよう努めているが、お昼を1階で食べることが多かった為昼間にストーブを消す事ができていない。	次年度も取組を引き続き継続する
水使用量の削減	水の使用量の取組は行われていた。	次年度も取組を引き続き継続する
グリーン購入品目数の増加	グリーン購入法適合商品リストをもとに購入している。	次年度も取組を引き続き継続する
太陽光発電施工工事の増加	太陽光発電施工工事を積極的に受注できている。	次年度も取組を引き続き継続する
廃棄物排出量の削減	ゴミの分別も適正に行われている。	次年度も取組を引き続き継続する
労働災害の防止	全員安全協議会に出席するよう努め、整理整頓を心がけている。	次年度も取組を引き続き継続する
資格試験への取組	資格試験の申込はしている。	次年度も取組を引き続き継続する
環境活動保全	ボランティアの活動に参加できている。	次年度も取組を引き続き継続する

## 9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

※当社に該当する主な環境関連法規は次のとおりです。

法規名	具体的内容	確認
建設業法	建設工事の適正な実施	遵守
電気工事業法	電気工事業の適正な実施	遵守
廃棄物処理法	自らの責任において事業活動に伴って生じた廃棄物を適正処理 産業廃棄物の委託契約 産業廃棄物管理票の交付 産業廃棄物管理票交付状況報告書の作成及び都道府県への提出	遵守
建設リサイクル法	一定規模以上の建築物等に関する建設工事について、 現場にて特定建設資材を分別し、再資源化する	遵守
特定家庭用機器再商品化 法(家電リサイクル法)	テレビ、冷蔵庫などのリサイクル法に該当する物への適正処理をする	遵守
フロン排出抑制法	特定製品(業務用エアコン、冷蔵庫等)の整備・廃棄時のフロン回収・破 壊、業務用エアコンの適正管理	遵守
大気汚染防止法	解体等工事受注者は、石綿使用の有無について、調査資格者が事前調 査を行い、発注者へ調査結果を書面で説明するとともに、その結果等を 解体等工事現場へ掲示	遵守
高知県環境基本条例	廃棄物の適正な処理 自然環境の保全 環境への負荷低減	遵守
高知市環境基本条例	廃棄物の適正な処理 自然環境の保全 環境への負荷低減 環境保全活動への協力	遵守
グリーン購入法	環境物品の購入	遵守
建築基準法	石綿その他の物質の飛散に対する衛生上の措置	遵守

※上記法令を遵守し、違反・訴訟等は過去3年間にありません。

# 10. ボランティア活動の実施報告

☆令和5年10月17日(火)  
秋のおもてなし一斉清掃

☆令和6年1月24日(水)  
「2024年南国土佐観光びらき」清掃

地域ボランティア活動参加報告書

活動名称	秋のおもてなし一斉清掃
主催	高知県観光政策課
年月日	令和5年 10月 17日 (火)
時間	午前 9時00分 ~ 10時00分 午後
参加者	企業名 ㈱高知電気 氏名 渡瀬 勇任
活動内容	午前 8時50分 龍馬の生まれたまち記念館前 集合 (受付・集合写真撮影・開始式) 9時00分 清掃作業開始 ~10時00分 (龍馬の生まれたまち周辺の清掃活動)
写真	
証明	上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和5年 10月 23日 一般社団法人 高知県設備協会 会長 和田 富雄

地域ボランティア活動参加報告書

活動名称	「2024年南国土佐観光びらき」清掃
主催	高知市、(公社)高知市観光協会
年月日	令和6年 1月 24日 (水)
時間	午前 9時30分 ~ 10時15分 午後
参加者	企業名 ㈱高知電気 氏名 廣光 宏昭
活動内容	午前 9時20分 中央公園 集合 (受付・集合写真撮影) 9時30分 清掃作業開始 ~10時15分 (中央公園から市街地までの清掃活動)
写真	
証明	上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和6年 1月 29日 一般社団法人 高知県設備協会 会長 和田 富雄

☆令和6年6月7日(金)  
環境美化重点地域早朝一斉清掃

地域ボランティア活動参加報告書

活動名称	環境美化重点地域早朝一斉清掃
主催	高知市・高知市民憲章推進協議会
年月日	令和6年 6月 7日 (金)
時間	午前 7時30分 ~ 8時10分 午後
参加者	企業名 ㈱高知電気 氏名 岡田 有起
活動内容	午前 7時20分 緑川みどりの広場 集合 (受付・集合写真撮影) 7時30分 清掃作業開始 ~8時10分 (みどりの広場から中央公園までの街路の清掃活動)
写真	
証明	上記のとおりボランティア活動に参加したことを証明する。 令和6年 6月12日 一般社団法人 高知県設備協会 会長 和田 富雄

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年9月30日

見直しに必要な情報				代表者による見直し	
管理責任者の報告及び改善への提案				変更の必要性の有無・指示事項	
<b>[取り組み状況の評価結果]</b> ①環境関連法規制等の順守状況(環境関連法規等順守記録による) しっかり遵守出来ていました。  ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 この一年で問題点はありませんでした。  ③前回までの代表者の指示事項への対応 前は特にありませんでした。  <改善への提案> 今回は特にありませんでした。				<b>[環境経営方針]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 少しずつ成果を上げられている。 今後もこの方針で進めていく。	
<b>[目標・環境経営計画の達成状況]</b> (詳細は環境経営計画書による)				<b>[目標・経営計画]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 実施状況	コメント (目標値・経営計画 に対するコメント)		
ガソリン使用量の削減	125%	○	目標達成できた。		
電気使用量の削減	119%	○	目標達成できた。		
ガス使用量の削減	110%	○	目標達成できた。		
水使用量の削減	93%	×	従業員が一時的に増えた 為使用量が多くなったと考 えられる		
グリーン購入品割合	100%	○	目標達成できた。		
コピー用紙の排出量	358%	○	目標達成できた。		
太陽光発電施工の推進	123%	○	目標達成できた。		
産廃の削減	33%	×	学校、福祉センター、集会所 と大口の照明取替工事が あった為		
<改善への提案> 今回は特にありませんでした。				<b>[実施体制][その他]</b> 変更の必要性: <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
<b>[周囲の変化の状況]</b> ①外部コミュニケーション記録より 今回は特にありませんでした。  ②環境関連法規制等の動向他 今回は特にありませんでした。  <改善への提案> 今回は特にありませんでした。				<b>[総括]</b> 近年、照明設備のLED化が増加し、弊社も受注したことにより産廃が増加 していった。今後もLED化工事が推進され、産廃増加傾向にあると予想 している。その他の項目は前回より目標達成状況がよくなってきたので引 き続き遂行していきたい。	
<b>代表者が自ら得た情報</b> 今回は特にありませんでした。					